

新火葬場地域経過報告会(根本地域)でのおもなご意見

7月22日(木)根本公民館にて開催した、新火葬場地域経過報告会にご参加いただき誠にありがとうございました。報告会でお聞きしたおもなご意見とその回答を次のとおりまとめましたのでご覧ください。

日 時 平成22年7月22日(木) 午後7時～

場 所 根本公民館

参加者 63人

○質問 長瀬町の現在の火葬場の位置に、改めて新しい火葬場をつくることはできませんか。また、移転より現在地のほうが事業費も少なくなりますか。

現在の火葬場は、生活道路を経由しなければ施設に入ることができません。そのため、前回の選定時に新たな進入路の建設について検討しましたが、費用と年月という点で困難と判断し断念しました。なお、火葬場という施設の特性上、現在の施設を運営しながら新しい施設の建設を進めていく必要があることから、現在地でも用地取得は必要となり必ずしも事業費は少なくなります。

○質問 建設費が17億円という見積もりは過大ではないですか。

17億円の建設費は、他市の事例を基に、用地費及び造成費、取付道路を除いて建物及び炉の分として積算した額です。全体事業費は、土地が市有地であるか民有地であるか、また、接続する道路の状況等によっても異なってきます。そうした点も含めて各候補地について評価をしていきます。

○根本小学校から距離が近く、子どもの成育上よくないように思います。

新しい火葬場は煙突はなく、煙もほとんど出ず無臭です。また、緑地帯を設けることや、建物自体もできるだけ文化的な雰囲気のある建物とする等、今後、決定した候補地のみなさんに意見を伺いながら建物の外観等についても検討していきたいと考えます。

○質問 火葬件数の予測が年間1000体～1400体となっていますが、予測の幅が大きすぎないですか。

今後の人口は減少傾向にありますが、高齢化率は高くなり、亡くなられる方の数も増えていくと考えられます。増加率等については、その時の状況にもよるため明確に求めることは

難しいのですが、現在よりも炉数を増加し、さらに炉の増設スペースを設けて対応していきたいと考えます。

○質問 松坂町の候補地は他の候補地と比べると近くに住宅も多く、候補地に入っていること自体が理解できません。市内には山も多く民家のないところもたくさんあるので、そうしたところに建てるべきです。

一定の面積があり、市内のセレモニーホールからも近く、幹線道路からの進入が容易である等の火葬場建設についての相応しいコンセプトを満たす場所であったため、候補地に選ばせていただいたものです。また、市内の開発されていない山の多くは保安林であり、開発が制限されています。各候補地を総合的に比較して、慎重に、相応しい建設場所を決めたいと考えています。

○質問 候補地の近隣に住んでいますが、現在、臭いや騒音、粉じんに悩まされています。更に火葬場を建設されてこれ以上周辺環境が悪化することは我慢できません。

新しい火葬場は、臭いや煙で周辺環境を悪化させることはありません。また、火葬場利用者の方の車両も一日50台から100台程度と予測され、環境への影響は大きくないと考えています。

○質問 現在の火葬場について、利用者からの苦情や周辺住民から移転してほしいという要望が届いていますか。

長瀬町町内会からは、新火葬場建設時には住宅団地ではない場所に建ててほしい、また、火葬場へ向かう車両が生活道路を通過するため、そうした状況を改善してほしいという内容の要望書が提出されています。なお、利用者からの直接の苦情は届いていませんが、担当としては、新しい火葬場が望まれていると感じています。

○質問 新しい火葬場の炉数は5基と計画されていますが足りませんか。

将来的な火葬件数の予測から5基を整備し、さらに1基追加ができるようスペースを確保します。また、従来の火葬時間2時間から1時間30分に短縮される予定ですので、十分対応できると考えています。

○質問 現在の火葬場でも、十分建て替えるスペースがあるように感じます。また、多額の費用をかけて派手な施設をたてる必要はないと思います。

現在の火葬場は待合室等も整っておらず、他市の例からも、新しく建設する際には現在よりも広い施設を建設する必要があると考えています。また、現在の施設を稼働しながら建て替えをすすめることとなりますので、建て替えには、さらに広い土地が必要となります。施設の内容につきましては、他市の例も参考にしながら、派手なものではなく、質素な中にも厳かな雰囲気のある建物が建設できればと考えています。

○質問 合併特例債を使用するとのことですが、結局市が借金を増やすことになるのではないのでしょうか。

通常、火葬場建設には国の補助制度はありませんが合併特例債は、その70パーセントを国が負担するものです。現火葬場は老朽化が進んでおり、早急に建て替える必要がありますので、合併特例債という財源があるうちに是非建て替えをしたいと考えています。

○質問 合併特例債の期限にこだわって、今あわてて建設する必要がありますか。

新火葬場の建設については施設の老朽化が進んでおり、10数年前から検討を進めてきた経緯があります。また、建設当時の技術的な問題から、煙や臭いという問題も生じており、できるだけ早く施設を新しくする必要があると考えています。

○質問 説明中の他市の事例は成功例ばかりですが、他市の施設周辺の住民から意見を聞きましたか。

直接住民から意見を伺ったことはありませんが、視察した火葬場の管理者から話を聞いた限りでは、周辺の住民の皆さんから特に苦情を受けたことはないとのことでした。